

楽しみながら「環境生活」

エコライフゲームの出前授業

大館市で4年生50人が歓声上げる
城南小

秋北バス

大館市の秋北バス（太田吉信社長）は9日、城南小を訪れ、今年度作ったエコライフゲームの出前授業を行った。人生ゲームのようにサイコロを振り、遊びながらエコな生活を考えられる内容で、4年生が歓声を上げて楽しんだ。

このゲームは早稲田環境研究所などが開発。同社は子どもたちにエコを意識しながらバスにもつ

と乗ってもらおうと許可を得て作った。

サイコロを振ってマスを進み、EP（エコポイント）と金をためてゴールを目指す。マスに「テレビゲームを1時間長く遊んだ（マイナス3EP・1万円）」「暖房の設定温度を1度低くした（プラス4EP・2万円）」などと記され、環境に負荷を与えない暮らしを楽しく学べる。



エコライフゲームを楽しむ児童

10月の大館圏域産業祭で先行体験を行い、小学生を中心に200人が楽しんだ。今月5日の東館小を皮切りに小学校への出前授業を行っている。城南小が2校目で、4年生2学級の児童計50人余が参加した。

児童は4人程度の班に分かれ、進行役の社員からアドバイスを受けながら体験。運による部分も大きく、EPや金を着実にためたり、思いがけず失ったりと、歓声を上げながら楽しんだ。漫画家になってコマを進めた佐藤美香さんは「たまっていくところが楽しい。学んだことを普段の生活で気を付けたい」と話していた。

同社はこのゲームを30セット作った。今後も出前授業を行うほか、市教委に10セット寄贈し、希望する学校が借りられるようにする考え。